

令和3年2月15日 / 毎月1回15日発行

医師と医師会を結ぶ情報紙

都医 NEWS

Vol. 660

| | |
|-----------------------|----|
| 東京都医師会 定例記者会見 | 01 |
| 底流 / 地区医師会長連絡協議会報告 ほか | 02 |
| みどりの広場 ほか | 03 |
| ふれあいポスト | 04 |
| 都医からのお知らせ ほか | 05 |
| 地区医師会長からの一言 | 06 |

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部70円(税別)



千代田区大手町 渋沢栄一像

撮影：大畑隆郎(板橋区医師会)

東京都医師会 定例記者会見

毎月第2火曜日開催



角田副会長



平川副会長



鳥居理事

東京都医師会は1月12日(火)に定例記者会見を開催し、新型コロナウイルス感染者の急増に強い危機感を示し、うつらない、うつさないための行動を徹底してほしいと訴えた。

団結して闘う気持ちを

尾崎治夫会長は「第一波の時よりもはるかに危険で厳しさを示し「新規陽性者数が急速に増加している」と述べた。

医療提供体制の現状

猪口正孝副会長は、東京都のモニタリング会議のデータを示し「新規陽性者数が急速に増加している」と述べた。

さらにワクチンの特性を説明するとともに、予防接種の重要性を訴えた。



猪口副会長



尾崎会長

尾崎会長は「緊急事態宣言が出ている1カ月間でどう感染を抑えるか、一人ひとりが考えて行動してほしい」と訴えた。

角田副会長は「先月から自宅療養者が急増している。感染経路は家庭内、施設内での感染が多く、若い人から感染を広げている可能性が高い。高齢者を守ることも大切にする必要がある」と述べた。

鳥居理事は「新型コロナウイルスはただの風邪、インフルエンザの方が死亡者数が多いなどと言われるが、急性呼吸不全や肺血栓症などが多く見られ予後が悪いことが分かる。感染しても症状がなく、症状が重化したり、後遺症が長く続くこともある。新型コロナウイルスの重症化を防ぐためにも通常医療を継続し、特定健診やがん検診を受けて病気の早期発見・早期治療につなげることが大切」と訴えた。

緊急事態宣言の発令を受けて

い状況になっていく。感染者を減らすためには人と人との接触をできる限り減らすことが必要だ。緊急事態宣言が出ている1カ月間でどう感染を抑えるか、一人ひとりが考えて行動してほしい」と訴えた。

感染対策の徹底を

そして「これまで現行の制度の中でできることを一杯やってきたが、病床を用意してもあっという間に埋まってしま

う。飲食店が悪い、医師会が悪いという問題ではなく、みんなで力を合わせて乗り越えるしかない。今こそすべての人が一致団結してコロナと闘うという気持ちになしてほしいと呼び掛けた。

鳥居理事は「新型コロナウイルスはただの風邪、インフルエンザの方が死亡者数が多いなどと言われるが、急性呼吸不全や肺血栓症などが多く見られ予後が悪いことが分かる。感染しても症状がなく、症状が重化したり、後遺症が長く続くこともある。新型コロナウイルスの重症化を防ぐためにも通常医療を継続し、特定健診やがん検診を受けて病気の早期発見・早期治療につなげることが大切」と訴えた。

自宅療養者への支援

平川博之副会長は「保健所は約1万4000人の自宅療養者、調整待機者等の健康管理を担っており、非常に負担が重くなっている。地域のかかりつけ医が協力して、在宅療養者の心身の変調に対応できるような支援システムをつくってほしい」と述べた。

実施体制など今後の検討課題を述べた。

底流

新型コロナウイルス感染症で 見えてきた我が国の医療の 脆弱性

新型コロナウイルス感染症流行拡大により日本の医療の脆弱性がいくつかの点で表面化した。いまこそ長期的視点で将来に備えるべきことがある！

1月13日時点で東京都の新型コロナウイルス感染症患者は1万9000人を超え、入院3266人、宿泊981人、自宅1万4960人(療養中8414人+調整中6546人)という状況である。医療の傘の下に入れない入院待ちの患者が6546人となり、まさしく医療の危機的状況である。

この闘いの真ただち中であり、この感染症との決着がいつか分からないが、これからの我が国の医療の長期的な方向性として見えてきたことがいくつかある。紙面の関係で詳しくは述べないが列挙しておく。

- ① コアキャパシティとは別の
- ② 患者情報の一元管理と情報共有
- ③ 医薬品、医療資器材などの入手経路の多様化の必要性
- ④ 突然の生命の危機的状況を想定したACPの重要性
- ⑤ 地域における女性医師支援懇談会の開催について

地区医師会長 連絡協議会報告

令和3年1月15日(金)

尾崎治夫会長は挨拶の中で「新型コロナウイルスの感染が都内全域に波及している。病床確保が困難な状況が続いている公立・公的病院のみならず、民間の病院もコロナ対応に協力している。東京都は4000床の確保を目標にしてきたが、これを7000床に増床しなければならなくなった。同時に自宅療養・待機患者が増加している問題も解決しなければいけない。また、今後行政と協力してワクチン接種が円滑に実施されるようお願いします」と述べた。

国は、医療従事者、次に高齢者へのワクチン接種を予定しており、最初はファイザー製のワクチンを使用するなど接種体制整備について示している。

- ① 都医からの伝達事項
- ② 新型コロナウイルス感染症における在宅療養中の患者に対する診療報酬請求について
- ③ 新型コロナウイルス感染症における在宅療養中の患者に対する診療報酬請求について
- ④ 在宅療養者・調整待機者等の在宅療養者支援について



がん検診受診促進ポスター

1 がんは早期のうちに発見されることがほとんどです。

2 がん検診の受診を受けることは、がんの発見を遅らせる可能性があります。

3 定期的にごがん検診を受けることが、がんの早期発見・早期治療につながります。

がん検診を受けていますか?

がん検診を行う会場や医療機関では、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を実施していますので、安心して受診しましょう。

受診の際は、検診を待つ間はマスクを着用し、検診室を離れましょう。

受診後は検診結果を待たずに帰宅し、検診結果をしっかりと受け取りましょう。

がん検診を受けられる場所

お住まいの区市町村でがん検診を受けられます。がん検診に関する詳しい情報は、こちらをご覧ください。

受けよう！がん検診

東京都福祉保健局 東京都医師会

新型コロナウイルス感染症の拡大により在宅療養中の患者が増加している。今後、かかりつけ医(在宅診療ネットワークなどを含む)が患者に赴いて診療などを行う機会が増えることが予想されることから、本会において「新型コロナウイルス感染症における在宅療養中の患者に対する診療報酬請求等に係る要旨」を取りまとめた。

東京消防庁救急相談センター

プロトコル変更：コロナ対応を含め

令和2年は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年でした。1回目の緊急事態宣言以来、相談件数は前年比で約1万件(4.7%)の減少で、開設以来の出来事でした。一方で発熱の相談が増加したため、発熱のプロトコルを作成して対応いたしました。また、昨年9月に都庁内に「東京都発熱相談センター」が開設され、相談内容の整合性を図る必要も発生いたしました。

さて、日々行われている救急相談のデータ解析が進み、より利便性の高いプロトコル変更がなされました。緊急度のコードNon-cord:NCは、データ集積に基づく検討の結果、医師への報告の必要性はないと判断しました。今後は、該当コードがない場合には青類型とし、これに伴い「上記すべての項目に該当しない場合(適宜医師に助言を求める)」および「現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や変わらず続く場合には診療所や病院への受診をお勧めします。」をプロトコルコード名「99-a」といたしました。今後勤務される先生方は変更点をご一読ください。

今後さらに質の高い電話救急相談を提供するため、引き続き皆様方の一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

東京消防庁救急相談センター受付状況 (速報値)

[令和2年1月1日~令和2年11月30日]

| | 累計 | 前年件数 | 前年同時期増減(増減比) | 受付件数に占める割合 | 前年同時期 | 一日あたりの件数 |
|-----------|---------|---------|-----------------|------------|-----------|----------|
| 総着信件数 | 343,254 | 402,781 | -59,527(-14.8%) | | | 1,024.6 |
| 受付件数 | 332,995 | 380,283 | -47,288(-12.4%) | | | 994.0 |
| 救急相談 | 202,951 | 212,011 | -9,060(-4.3%) | 60.9% | 55.8% | 605.8 |
| 救急要請 | 31,396 | 28,612 | 2,784(9.7%) | (※1)15.5% | (※1)13.5% | 93.7 |
| 相談前救急要請 | 612 | 642 | -30(-4.7%) | 0.2% | 0.2% | 1.8 |
| 医療機関案内 | 129,290 | 167,457 | -38,167(-22.8%) | 38.8% | 44.0% | 385.9 |
| かけ直し依頼 | 142 | 173 | -31(-17.9%) | 0.0% | 0.0% | 0.4 |
| その他(苦情) | 0 | 0 | 0(0.0%) | 0.0% | 0.0% | 0.0 |
| 応答率(※2) | 97.0% | 94.4% | 2.6ポイント | | | |
| 看護師への医師助言 | 26,677 | 37,289 | -10,612(-28.5%) | | | 79.6 |
| 通信員への医師助言 | 8,753 | 16,212 | -7,459(-46.0%) | | | 26.1 |

(※1)救急相談件数に占める割合
(※2)応答率とは、総着信件数に占める受付件数の割合。(応答率=受付件数÷総着信件数%)

155 みどりの広場

医療提供体制支援と 水際・出入国管理における コロナ対策について

参議院議員 自見はなこ



東京都医師会の先生方におかれましては、平素より温かいご理解とご支援を賜り、深く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の感染者数が過去最多を更新し続けるなど、東京都の医療提供体制が非常に厳しい状況にある中、都民の命と健康を守るため全力を尽くしていらっしゃる先生方に、最大限の敬意を表します。

2020年11月25日の参議院予算委員会でも質問に立ち、医療機関の逼迫する現状と支援の必要性を訴え、菅総理大臣から強い決意をお示しいただいたことは、前回ご報告させていただきました。医療提供体制を守るための支援措置は喫緊の課題であり、これまで2度の補正予算を編成しましたが、現場を支えるために十分とは言えない状況でした(12月15日から適用)。

この点については、予算委員会のほかにも、菅総理をはじめ、加藤官房長官、田村厚生労働大臣等に繰り返し訴えてまいりました。その結果、12月14日の中医協総会において、新型コロナウイルス感染症への対応とその影響等を踏まえた診療報酬上の取り扱いが議題となり、以下2点の特例的な対応が承認されました(12月15日から適用)。

・小児特有の感染予防策を講じた上で6歳未満の乳幼児の外来診療等を実施した場合、初再診に関わらず患者毎に100点(歯科は55点、調剤は12点)を算定できることとする。

・新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた医療機関において、必要な感染予防策を講じた上で入院診療を行った場合の評価を3倍(2500点→7500点)に引き上げること。

加えて、12月15日に閣議決定された令和2年度第三次補正予算案では、新型コロナウイルスの感染が疑われる発熱患者の診療や検査を行っている「診療・検査医療機関」に対し、消毒や動線を分けるなどの経費の支援で最大100万円の助成が盛り込まれました。12月21日に閣議決定された令和3年度当初予算案にも、感染予防策を講じた一般診療等について、外来5点、入院1日につき10点を追加的に算定できることが盛り込まれました。

後期高齢者の自己負担割合や、薬価の改定など社会保障を巡る厳しい情勢もあります。国民の命と健康を守るため今年も全力で頑張ります。

前回、前々回と経過をご報告させていただいた自民党訪日外国人観光客コロナPT(座長：鶴保康介参議院議員、事務局長：自見はなこ)が12月3日に取りまとめた政府への提言についてもご報告させていただきました。PTでは、11月6日から12月3日まで全7回の会合を行い、業界団体や有識者からのヒアリング等を実施し、提言を取りまとめました。

提言では、入国前・滞在中、出国時までの訪日外国人観光客の一連の行動における感染拡大の恐れがある要因について、また、日本入国前の査証発給に際して①PCR陰性証明の取得、②民間医療保険の義務的加入等、③COCAなどのアプリのインストール、④入国後14日間の健康報告義務の遵守、これらの誓約を条件とすることも盛り込んでいます。提言は、12月18日に自民党政調審議会でも了承され、党としてのオフィシャルなものとしました。日本入国の条件に精度管理されたPCR等検査の陰性証明を課すなど、水際対策にも活用できる政策提言となっています。

令和2年度第三次補正予算案ならびに令和3年度当初予算案にもシステム整備等95億円が盛り込まれています。医療機関支援、東京オリンピック・パラリンピック対策など、重要項目が自白押しで予算案

患者の診療や検査を行っている「診療・検査医療機関」に

た。この点については、予算委員会のほかにも、菅総理をはじめ、加藤官房長官、田村厚生労働大臣等に繰り返し訴えてまいりました。その結果、12月14日の中医協総会において、新型コロナウイルス感染症への対応とその影響等を踏まえた診療報酬上の取り扱いが議題となり、以下2点の特例的な対応が承認されました(12月15日から適用)。

給に際して①PCR陰性証明の取得、②民間医療保険の義務的加入等、③COCAなどのアプリのインストール、④入国後14日間の健康報告義務の遵守、これらの誓約を条件とすることも盛り込んでいます。提言は、12月18日に自民党政調審議会でも了承され、党としてのオフィシャルなものとしました。日本入国の条件に精度管理されたPCR等検査の陰性証明を課すなど、水際対策にも活用できる政策提言となっています。

令和2年度第三次補正予算案ならびに令和3年度当初予算案にもシステム整備等95億円が盛り込まれています。医療機関支援、東京オリンピック・パラリンピック対策など、重要項目が自白押しで予算案



ニコライ堂 神田に響く荘厳な鐘の音

趣味の散歩

当院は、ニコライ堂のすぐ西のブロックにある。日曜日の昼、ニコライ堂の荘厳な鐘の響きにふと耳を傾ける。ニコライ堂は、正式名称を「日本ハリストス正教会教団 東京復活大聖堂」という。ロシア正教会の日本初の聖堂である。大都会に突如として現れる浅緑色のドームに誰しもが心奪われるだろう。

聖ニコライは1872年に函館から上京し「本会」としてニコライ堂を建設。しかし、ロシア革命による弾圧、関東大震災による崩落。セルゲイ府主教は1929年に再興するもソ連により拘束。このような苦難の道を経て、1970年にモスクワから承認され現堂となる。鐘楼は箱根の避暑館から移築されたものに、ロシア製の聖鐘が大幅に増え今の音色となった。その重厚な音色はユーチューブで聞くことができる。

さて、神田周辺は歴史的建造物が多い場所でもある。司馬遼太郎は「街道をゆく」本所深川散歩・神田祭になるとは想像もしていなかっただろう。

知ってますか?

インフォデミック

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やウェブ上に根拠不明、不確実な情報や明らかに誤った情報(フェイクニュース)が故意に上げられ、これにより多くの人々がパニック状態となったり、社会が動揺するような状態になること。

コロナ禍における 寄附金を活用した救急病院支援

このたび、ネットワンシステムズ株式会社(東証一部上場企業)から本会へ多額の寄附金をいただいたことを受け、荒井透同社代表取締役社長執行役員へ尾崎治夫会長から感謝状が贈呈されました。

荒井社長はかねてよりCOVID-19の院内感染による医療崩壊を懸念されており、本会が寄附金を受けて、希望する東京都指定二次救急医療機関へCOVID-19陽性者の紛れ込みを防ぐための検査機器等を寄贈することとなりました。



尾崎会長、荒井社長、鳥居理事



▲PT提言全文はこちらからご覧になれます



練馬区医師会

沼口俊介

ウォッカと危ない友情

G8がドイツで開催された際にフランス大統領のサルコジ氏が会見の時に呂律が回らずおかしい様子がベルギーの放送で流れ話題になったことがありました。サルコジ氏はお酒を一切飲まないことで有名でしたので直前のロシア大統領のプーチン氏との会議で断り切れずにワインもしくはウォッカを嗜んだのかもしれませんがフランスの放送では一切報道されず真相は分からないままでした。

お酒にはさまざまな種類があり世界中の方がいろいろな楽しみ方をされていますが「ウォッカ」という酒は日本人にはあまりなじみのないお酒です。ウォッカはジン、テキーラ、ラムというスピリッツ（蒸留酒の類）でサイトからの情報によると原材料はジン同様、大麦、ジャガイモ、ライ麦から作られており他と大きな違いは蒸留後に白樺の炭でろ過させているとのこと。度数は高いですがクセが少ないのでカクテルの材料として使われますので試された方もおられるかと存じます。

2019年夏、フランス留学時に知り合った言語学者の夫妻から突然連絡がありました。ご主人は第二次大戦後のドイツにより廃墟となったポーランドのワルシャワで育ち、当時の旧ソビエトの管理下にあった国での言論のない生活に疲れ、自由を求めてフランスのパリに命からがら逃亡しフランス人の奥様と出会い、共に言語学の研究に従事された方でした。この両名がフランスの大学の仕事を終え退官後の生活を10年前に解放され、ここ数年躍進してきた母国ポーランドに戻ることを決断（奥様はフランス人ですが言語学者でフランス語、英語、ポーランド語は堪能）しワルシャワで自宅を購入したから家に泊まっているいろいろ討論しよう、そしてワルシャワの北部（ワレサ氏で有名になったグダンスク市）を小旅行しようという誘いでした。現在ポーランド航空が1日1便、毎日飛んでおり何とか時間をつくり10日間近く訪問してきました。彼らとの会話はフランス語、英語が中心ですが言語に弱い私たち夫婦はポケットークを購入し何とか意思疎通ができました。

さて話題はお酒の話に戻ります。このウォッカをめぐる論争がロシアとも起こり、さらに欧州連合でも起こるほど原材料、起源について彼らはこだわりを持っています。私の友人によるとポーランドは365日違ったウォッカが飲めると豪語していました。日本ではウォッカを飲まれる方の多くはカクテルかもしれませんが、ポーランド人と飲む場合は作法があります。まずワン

ショットのグラスを一人で2つ用意します。これをテーブルの上に音がするようにしてお互いに置きます。そして相手の目の中を覗き込んでからウォッカを注ぎ込みます。そして1杯を一気に飲み干します。度数が強いので飲んだ後は息を吐き出します。そして相手の目を再び覗き込みます。2杯目も同様に行います。所謂喧嘩酒の様相です。私自身の経験を申しますと度数が高いので1杯目はまず頭がぐらっときます。2杯目は腰にきます。帰国する前々日にお互い70代（私は70歳、彼は75歳）となり、永別ではないですが人生の中でもう一度会うことはないかもしれないとの思いから彼の誘いを断らず二人で4杯勝負しましたが、完ぺきにノックアウトさせられ恥ずかしながらサルコジ氏のレベルよりはるかにみっともない状態となりました。帰国後、彼にメールで「君と飲むことがもし将来あったとしたら私は目を閉じることとする」と送りましたら、彼からは「飲むときに君が目を閉じていても俺たちの友情にはヒビが入らない」との返事が戻ってきました。もう一度彼とウォッカで勝負しましたら共に天国に行く危険性のあるかなり危ないお酒かもしれません。

（練馬区医師会だより 第619号から抜粋）



春

新宿区医師会事務局 熊澤幸生

2年前の2月に沖縄の名護市で撮影しました。ピンクの花は「緋寒桜」という台湾原産の桜。メジロが木々を飛び回り、しきりに花の蜜を吸っていました。

無声拝聴

新型コロナ下での講演会

新型コロナウイルスのパンデミックが始まった昨年3月頃から、私の所属する地区医師会での会合はすべてストップしてしまった。かろうじて理事会と委員会だけは3密を避け、窓を開け換気しながら行われていたが、「不要不急の」講演会はずべて中止された。

秋の気配を感じる頃になっても一向にコロナは収まりそうもなかった。しかし、学術の振興を定款にうたう医師会としては、学術講演会をいつまでも開かないわけにはいかない。

メーカー主導でのオンライン講演会も行われてはいたが、講師と聴講者間のコミュニケーションが満足できるレベルではない。講師としては聴講者の顔が見えないので、自分の話がどのくらい理解されているのかわからない。また聴講者も自由

に質問できることは限らず、もどかしい思いは避けがたい。そこでオンラインリアルタイムのハイブリッド講演会を企画した。医師会館には3密を避けるため大講堂に限定20名まで、マスクをして体温を測定し手指消毒をしたうえで入場。来館できない会員はオンラインで参加した。参加者数はコロナ以前よりむしろ増え、講師も聴講者の反応をリアルに受け止められるので話しやすいと好評であった。

高音質で安定した配信環境を保つにはそれなりのスキルを持ったスタッフと機材が必要であり、余分な経費を要するのが難点ではあるが、たとえワークスが効果を発揮したとしても感染を抑え込むまで年余の期間が必要と見込まれる現在、この方式をすべて「自前」で実行できるよう準備が必要だと感じた。(章晴明)

落とし穴の多い赤痢アメーバ症

感染症豆知識

アニサキスほどではないにしても、日常診療でしばしば遭遇する寄生虫は赤痢アメーバである。大腸のみの病変と誤解されているが、時に肝臓、脳、肺などに膿瘍を形成する。とりわけ肝臓膿瘍は頻度が高いうえ、大腸に病変が見られないことが多く注意が必要である。感染は腸管の管腔内で形成されるシスト(嚢子)の口からの摂取による。感染原因の多くは、衛生状態の不十分な地域でシストに汚染された食物を摂取することや同性間・異性間の性的接触による。2020年は国外への出入国が激減したが、11月時点での赤痢アメーバ症の報告数は例年の3割減であり、イメージに反して国内感染例が多いことを示している。

通常アメーバは腸管上皮でおとなしくしているが、一旦粘膜に侵入し始めると豹変し赤痢アメーバ症を起こす。感染者のうち実際に発症するのは1割程度である。大腸で発症する腸管アメーバ症の症状は腹痛、下痢と粘血便であり、さほど特徴的ではないため見逃されることがしばしばある。診断は便を採取し、顕微鏡観察で動いている栄養体やシストを同定するのが最も簡便である。しかし栄養体は環境変化に弱く、37度で保温し1時間程度で診断する必要がある。またシストは数が少ないことも多く、顕微鏡診断はその診断感度の低さから3回以上の検査が必要である。大腸内視鏡検査で特有の潰瘍やアメーバの存在を生検で確認する方法も用いられている。残念ながら、これまで用いられていた血清の抗体検査は2017年末に試薬の製造が中止となった。その結果、2018年には赤痢アメーバ症が前年度から激減したことは記憶に新しい。最近、抗原検査試薬が薬事承認され、今後保険収載されることが見込まれている。難渋することの多い赤痢アメーバ症の診断が進むことが期待される。

(文責：美田敏宏)

東京都医師会
感染症予防検討委員会

都医からのお知らせ INFORMATION

東京内科医会 第34回 医学会

東京内科医会 TEL: 03-3259-6133

日時 ▶ 3月21日(日) 14時30分~18時20分

会場 ▶ Hikarieカンファレンス(渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ11F)

※会場講演とWeb配信とを併用したハイブリッド型講演会

プログラム1 ▶ 「学術研究及び臨床経験発表」(東京内科医会会員発表)

プログラム2 ▶ 教育講演 I 「低血糖を起こさない糖尿病治療に向けて~CGMの知見をふまえて~」西村理明(東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 主任教授) 講演 II 「動脈硬化性疾患診療における中性脂肪のみかた」木庭新治(昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門 教授)

参加費 ▶ 3,000円(要事前申込み) 申込方法 ▶ ホームページよりお申し込みください。

取得単位 ▶ 日本医師会生涯教育制度2単位(CC: 7, 75, 76, 82)申請中、日本臨床内科医会認定医・専門医制度5単位

2021年度 慈恵医大月例セミナー(日本医師会生涯教育講座)

慈恵医大生涯学習センターまたは慈恵医師会 TEL: 03-3433-1111(大代表) (内線2634・2636)

会場 ▶ 慈恵大学病院 中央棟会議室(8階)

開催日・内容 ▶ ①4月10日(土)「乳腺・甲状腺疾患の診断と治療」田部井功(乳腺・内分泌外科 准教授)、「救急室で亡くなった症例を通して内分泌疾患を考える」山城健二(糖尿病・代謝・内分泌内科 講師) ②6月12日(土)「睡眠薬との上手な付き合い方」山寺 亘(精神神経科 准教授)、「三叉神経痛」渡邊健太郎(脳神経外科 助教) ③11月13日(土)「バイオフィルムの基礎研究と応用展開」杉本真也(細菌学講座 准教授)、「消化器内視鏡領域におけるAI技術の活用」樺 俊介(内視鏡部 助教)

時間 ▶ 16時~18時 ※一部変更する場合があります。※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の状況によってはセミナーの中止または変更となる場合がございます。

第448回 国際治療談話会 例会「ワクチンの変更と問題点」

(公財)日本国際医学協会 事務局 東京都世田谷区上馬1-15-3 MK三軒茶屋ビル3F TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599 E-mail: imsj@imsj.or.jp URL: http://www.imsj.or.jp/

日時 ▶ 3月18日(木) 18時30分~20時30分 形式 ▶ Web講演

開会挨拶 ▶ 石橋健一((公財)日本国際医学協会 理事長)

司会 ▶ 市橋 光((公財)日本国際医学協会 理事)

(第1部)講演①「日本における予防接種事情」峯 真人(医療法人自然堂 峯小児科 院長)、②「HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの光と影-日本と世界」今野 良(自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科 教授) (第2部)感想「400年の伝統事業、継続の要諦」坂上隆彦(樋屋製薬株式会社 代表取締役社長)

申込方法 ▶ 右記QRコードまたは当協会ホームページをご覧ください。

会費 ▶ 無料

取得単位 ▶ 日本医師会生涯教育制度1単位(CC: 7, 11)

*新型コロナウイルス感染症の情勢により、国際治療談話会の内容が変更、または中止となる場合があります。



第57回 東京女子医科大学 糖尿病センターとの病診連携の会

ノボノルディスクファーマ(株) TEL: 080-9688-0853 E-mail: ctnk@novonordisk.com

日時 ▶ 2月25日(木) 19時15分~20時35分

※19時15分から操作方法の説明、単位取得について説明を行います

会場 ▶ オンライン開催

一般講演 ▶ 「緊急事態宣言中における糖尿病患者の生活変化における調査と考察」増田美央(ベリククリニック院長)

特別講演 ▶ 「新型コロナウイルス感染症 アップデート」忽那賢志(国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室 医長)

取得単位 ▶ 日本医師会生涯教育制度1単位(CC: 76, 82)申請予定、東京糖尿病療養指導士・支援士認定更新のための2群研修(1単位)申請予定

申込方法 ▶ 必須項目(件名: 参加申し込み、文面: 第57回糖尿病センターとの病診連携の会に参加します、氏名、施設名、住所、電話番号)を記載のうえ、メールでご連絡をお願いいたします。お申し込み後、参加確認のご連絡、当日の参加方法、URLをご案内いたします。

申込締切 ▶ 2月22日(月)

医師国保からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症に対する本組合の対応について

~傷病手当金・見舞金を支給いたします~

- 新型コロナウイルスに感染した、又は感染が疑われる被用者の方に、傷病手当金を支給します。被用者に該当しない第1種組合員の方には、傷病見舞金を支給します。
- 令和2年1月1日以降、療養のため労務に服することができない期間のうち、就労を予定していた日が対象となります。

詳しい内容、申請方法等はホームページをご覧ください www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6434 (業務課)

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医^{ニュース}NEWS

2021

Vol.
660

地区医師会長からの一言

チーム医療としての大学病院と
大学医師会の在り方

昭和大学医師会長 相良博典



私は令和2年度より昭和大学病院長および昭和大学医師会長に就任いたしました。昭和大学病院では、板橋家頭夫前院長(昭和大学医師会前会長)のもとで副院長として3年間勤め、いろいろな学びを得ることができました。昭和大学病院は大学病院という組織でありながら、親しみやすく頼れる存在として地域の診療にあたり、近隣医療機関との「顔が見える病診連携」を目指しております。それに伴い、現在、総数355名の会員を抱える昭和大学医師会としましても、日本医師会・東京都医師会のご尽力のもと、他地区医師会との交流・連携をさらに深めてまいりたい所存ですので何卒よろしくお願い申し上げます。

昭和大学病院では昭和大学クリニカルセミナーを例年開催しており、大学病院近隣の医師会の先生方をお招きし、地域医療連携の充実に努めております。昨年は約420名の参加者のもと第34回目を開催することができました。昭和大学医師会による産業医研修会の開催は毎回約300名の受講者が集う学びの場となっております。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からこれらの開催が中止となり、その他種々のセミナー、研修会も例年通りの会場開催を断念する状況が続きましたが、一方でウェビナーなど新たな開催様式も構築されつつあります。大学病院と地域医療における対話は、最適かつ安心安全な医療を実現するために重要なものですので、患者さんの日常に寄り添いながら支えている地域の先生方との交流の機会として今後も開催は続けていきたいと思っております。

また、大学病院においては医療人の育成は最も重要な使命と考えております。医療者の満足感や幸福感がハイライトされることにより、医療現場の働き方改革へとつながり、より質の高いチーム医療の実現を図ることができるのではないのでしょうか。そのような観点にフォーカスして昭和大学医師会では昨年度より2つの「アワード」を企画し、表彰および支援をいたしました。「Young Investigator Award」は、35歳以下の昭和大学医師会員を対象に募集したもので、優れた原著論文を発表した医師3名を選出いたしました。若手医師による研究活動の活性化、研究成果の発展につながることを期待しています。「Persons of the year」では、昭和大学旗の台キャンパスおよび昭和大学病院、附属東病院に勤務する職員を対象に、診療・教育・研究・事務作業などで卓越した貢献者に感謝の意を表して3名を選出いたしました。多職種間で協働する環境において互いの活躍に注目し、現場がさらに活性化されることを望んでいます。その他の事業では、保険医集団講習会のほか「科研費申請ノウハウ」「医療現場の行動経済学」「英語論文の書き方」といった幅広いテーマで、職種の垣根を越えた聴講者を対象に受け入れながら、講習会を開催してまいりました。

引き続き、昭和大学病院および昭和大学医師会とともに医療の発展に尽力してまいりますので皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。